

一般社団法人 日本医療薬学会
平成 28 年度第 1 回定例理事会 議事録

一. 開催日時：平成 28 年 3 月 2 日（水） 13 時 ～ 16 時 20 分

二. 開催場所：日本医療薬学会会議室

三. 出席者

会 頭：佐々木 均

副会頭：望月 眞弓、奥田 真弘、松原 和夫

理 事：井関 健、桂 敏也、川上 純一、河原 昌美、北田 光一、草井 章、
千堂 年昭、宮崎 長一郎、山田 清文、山本 信夫

監 事：大石 了三、山田 安彦

陪席者

会計顧問：五十嵐 邦彦 事務局：星 隆弘

欠席者

理 事：青山 隆夫、大森 栄、吉光寺 敏泰、谷川原 祐介、濱 敏弘、山本 康次郎

監 事：乾 賢一

四. 議長：佐々木 均

五. 会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 14 名の出席があり、定款第 38 条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六. 議事の経過の概要及びその結果

1. 平成 27 年度第 6 回定例理事会議事録の確認

議長より、昨年 12 月 25 日に開催された平成 27 年度第 6 回定例理事会議事録を基に議事内容の確認が行われ、修正等がある場合には本理事会終了時までには指摘するよう要請があった。続いて、前回理事会から昨日までに開催された各委員会等の会務状況が報告された。

2. 協議事項

(1) 第 8 回定時社員総会資料等の確認

1) 平成 27 年度事業報告（案）

千堂理事より、平成 27 年度の実業報告として、本学会が平成 27 年 1 月から 12 月までの 1 年間に取り組んだ事業活動の総括報告と各委員会の活動内容が説明された。協議した結果、当該事業報告(案)の内容の一部を修正した上で了承することとし、第 8 回定時社員総会（開催日：平成 28 年 3 月 26 日開催予定、以下 総会という）に諮ることとした。

2) 平成 27 年度決算報告（案）

議長より、平成 27 年度の決算報告として、本学会の平成 27 年 1 月から 12 月までの 1 年間の事業活動による出納及び資産等を取りまとめた貸借対照表、正味財産増減計算書、収支計算書及び財産目録の各計算書を基に決算状況が説明された。収入の面では、正会員数及び第 25 回年会の参加数が見込みよりも多く増収となった。支出の面では、会員数の増加による学会誌の増刷、3 日間の会期で大規模会場を利用した年会での支出が大きく支出増となった。最終的には、収益が支出を上回ったことが報告された。協議した結果、本決算報告は了承され、総会に諮ることとした。

3) 平成 27 年度監査報告

大石監事より、本年 2 月 19 日に実施した監事監査の報告として、事業活動の面では、大学教員や学生が本学会に参画するための活動を企画すると共に、参画しやすい環境作りや条件面の整備を図る必要性が指摘された。出席理事より、学会として大学での研究活動の奨励と推進を図る活動や臨床教育分野に携わる教員を重点的に支援する活動を進めるべきではないかという意見があり、今後、理事会及び関連する委員会で具体化に向けた検討を進める方針が確認された。また、財政面では、決算報告で説明されたとおり、財産の適正な執行状況と健全な財務体制が確認された旨の監査結果が報告された。

4) 総会当日の会議スケジュール及び会場レイアウト等の確認

議長より、平成 28 年 3 月 26 日（土）に開催する総会、第 2 回定例理事会及び新役員候補者による会合のスケジュール、総会の議事次第及び会場レイアウト等が確認された。

(2) 平成 28・29 年度推薦理事候補者の選任

議長より、役員候補者推薦委員会（平成 28 年 2 月 15 日開催）の審議を経て選任した推薦理事候補者のリストが提示され、本学会女性会員の中からの登用を念頭に、病院、大学及び行政機関の所属者より 6 名を推薦理事候補者として選任されたことが説明された。協議した結果、本リストに基づき推薦理事候補者を総会に諮ることとした。今後、役員候補者選出規程を改正するなど、推薦理事候補の選任要件を規定することが確認された。

(3) 薬剤師生涯教育達成度確認試験への試験問題の提供等に係る対応

奥田副会頭より、第 1 回薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師試験問題提供に係る検討 WG（平成 28 年 1 月 25 日開催）の議事録に基づき、本学会として①試験問題作成を担う委員を選任すること、②情報漏洩（セキュリティ）対策を講ずること、③当該試験問題の提供先となる薬剤師研修センターとの業務分担として本学会が担う業務を整理したこと、④業務受託費の積算条件を決めたこと、⑤薬剤師研修センターとの間で必要な契約を締結することの 5 項目を取りまとめたことが説明された。また、③の情報をもって薬剤師研修センターが策定した業務委託契約書案が提示され、協議した結果、業務委託契約書案の一部条文を修正した上で薬剤師研修センターに返答すること、また、業務委託費については、事務局案をもって交渉することとした。

続いて、薬剤師研修センターより推薦依頼があった薬剤師生涯教育達成度確認試験実務委員会委員について協議され、望月副会頭を推薦することとなった。

(4) 薬物療法専門薬剤師研修ガイドライン

河原理事より、前回理事会の審議の過程で出された意見を受け、修正した薬物療法専門薬剤師研修ガイドライン(案)について、薬物療法専門薬剤師研修小委員会の再審議を経て修正版を整備したことが説明された。協議した結果、本ガイドラインの発布日やバージョン情報等を付記するなど体裁を整えた上で、本学会のHPで公表することが了承された。

(5) 医療薬学の研究発表における倫理的問題に関する指針の改訂

千堂理事より、平成27年度第1回定例理事会で協議された医療薬学の研究発表における倫理的問題に関する指針の改訂への対応として、学術発表に特化した倫理的問題に関する指針の整備案が示された。協議した結果、本指針は、年会や公開シンポジウムなどの幅広い領域やレベルの発表に適用されることより、今後、委員会等で十分に審議を重ねるなど検討することとなった。

(6) 厚労科研「プロトコールに基づく薬物治療管理(PBPM)導入マニュアル」の策定

議長より、平成27年度厚生労働科学研究費補助金 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「薬剤師が担うチーム医療と地域医療の調査とアウトカムの評価研究」の研究として取り組んだ「プロトコールに基づく薬物治療管理(PBPM)導入マニュアル(案)」の総論部分は、幾度かにわたって理事会メンバーの意見を聴取してきたことより、取りまとめことが説明された。協議した結果、学会として公表するPBPMに関する指針となるため、その影響力は大きく、薬剤師の業務の指針として法律に抵触しない表現且つ内容であることを、リーガルチェックを経た上で完成させることとなった。なお、完成後は、主任研究員である安原真人先生を通じて厚労省に報告すると共に、本学会のHPを通じて公表する。

(7) 日本癌治療学会・医薬品プロフィール委員の推薦依頼への対応

議長より、2年前に本学会から推薦した日本癌治療学会・医薬品プロフィール担当委員、協力委員及び評価委員について、同学会より再任の可否に係る確認依頼があり、その対応について協議した。その結果、全委員の再任を認めることとした。なお、依頼者には、事務局より全対象者に再任の意思確認した上で回答する。

(8) 前年度会費の遡及納入への対応

川上理事より、平成27年度会費の遡及納入に係る嘆願書が2名より提出され、嘆願理由を確認した結果、了承可と判定したことが説明された。協議した結果、当該嘆願を了承することとなった。

(9) 特定個人情報取扱規定等の策定

議長より、年会・講習会等の講師より収集する個人番号(いわゆるマイナンバー)を取り扱う上で、整備が必須となっている特定個人情報基本指針(案)、同取扱規程(案)の2種類の案について、両案共に通常兼ね備えなければならない項目を網羅している一般的な内容の基本方針及び規程案となっていることが説明された。協議した結果、両案共に了承された。

3. 報告事項

(1) 第26回年会準備状況報告

松原副会頭(第26回年会長)より、第26回年会の概略として、特別講演4題、教育講演1題、特別シンポジウム6題の予定講師の紹介と公募シンポジウムの応募状況及び採択計画、また、社員

総会、懇親会、日本病院薬剤師会病院薬局協議会学術フォーラム等のスケジュールが報告された。

(2) 医療薬学会年会あり方検討委員会の検討報告

議長より、第3回年会あり方検討委員会（平成28年2月15日開催）において取りまとめた検討事項として、①年会長候補者推薦委員会を設置し年会長を公正に選任すること、②年会長を選任するための規程等を整備することし次回の理事会に当該規程等を諮ること、③年会運営に係る基本方針を定めること、④年会運営に必要な規則や手順等を定めること。今後、それらの点を踏まえ、年会あり方検討委員会からの提言を策定し、理事会に諮ることが報告された。

(3) 薬物療法専門薬剤師集中講義の実施報告

河原理事より、今年度第2回目の薬物療法専門薬剤師集中講義を昨年12月5日、6日の両日により長井記念館地下ホールを会場として開催したこと。今回は12種類の疾患に関する講義テーマをもってプログラムを策定し、参加者が174名であったことが報告された。

(4) 委員会報告（3件）

1) 第1回国際交流委員会

望月副会長より、第1回国際交流委員会（平成28年2月2日開催）では、第26回年会の中で開催する国際シンポジウムの企画等について協議し、テーマの設定、座長及びシンポジストの選任方針等を決定したことが報告された。

2) 第1回薬物療法専門薬剤師研修小委員会

河原理事より、第1回薬物療法専門薬剤師研修小委員会（平成28年2月5日開催）の議事内容として、平成28年度内に薬物療法専門薬剤師集中講義を2回開催（開催候補地：東京、名古屋）することを計画し、各会場の講義テーマを選定したこと。また、今後の講義テーマのあり方として、現在小委員会で設定している疾患領域の範囲を拡張し、薬物療法専門薬剤師としてチーム医療を実践するための基本的な知識や技術等に関わる講義テーマの導入を議論したこと、また、薬物療法専門薬剤師研修ガイドラインの修正に係る協議及び内容を確認したことなどが報告された。

3) 第1回がん専門薬剤師研修小委員会

議長より、第1回がん専門薬剤師研修小委員会（平成28年2月7日開催）の議事録を基に、平成28年度中に開催予定のがん領域の講習会・セミナー等に係る議事が報告された。

(5) 後援依頼（3件）

議長より、本学会に依頼があった次の3件の後援依頼を承諾したことが報告された。

- ・「第9回日本在宅薬学会学術大会」（日本在宅薬学会）
- ・「第1回日本教育薬学会大会」（日本教育薬学会・設立予定団体）
- ・「名城大学薬学部 第6回学生フォーラム」（名城大学）

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は 16 時 20 分に閉会を宣言し、解散した。

上記議事概要及びその結果を明確にするため、会頭及び監事は次に記名押印する。

平成 年 月 日

一般社団法人日本医療薬学会

会頭 印

監事 印

監事 印